

R2/4月から過活動膀胱の新しい治療法

ボツリヌス「ボトックス®」膀胱壁内注入療法を開始しました。

R2年3月21日、ラジオ関西「みんなの健康相談」にて過活動膀胱についてお話させていただきました。

過活動膀胱は40歳以上の日本人の12.4%（およそ8人に1人）が過活動膀胱の症状を持つといわれ、患者数は1,000万人を超えると推定されています。

頻尿、尿意切迫、尿失禁で投薬加療も効果が乏しい過活動膀胱の患者様に対し、ボトックス膀胱壁内注入療法がR2年4月から健康保険適用されました。

当院ではボトックス講習、実技セミナーを修了し、4月より過活動膀胱に対する「ボトックス®」（A型ボツリヌス毒素）膀胱壁内注入療法を開始しました。

A型ボツリヌス毒素を膀胱壁内注射することで筋弛緩作用を示し、過活動膀胱による種々の症状を改善する治療法です。

所要時間は麻酔15分、膀胱壁内注入に5分程度で、通院で治療可能です。

数名の患者様に施行しておりますが重篤な合併症もありません。

薬物治療効果の乏しい過活動膀胱、尿失禁を伴う神経陰性膀胱の患者様のお役に立てればと考えていますので遠慮なくお問い合わせください。

たまだ泌尿器科クリニック

玉田 博